

平成28年度 プロジェクト研究費研究実績報告書

平成29年4月26日

代表者 鈴木 弘貴

研究課題名	「グローバル・ジャーナリスト」の視点の研究—ISによる後藤さん殺害事件を事例に
研究期間	平成28年4月1日 ~ 平成29年3月31日
共同研究者	
1. 今年度の研究概要	
<p><計画の概要></p> <p>本研究で扱う「グローバル・ジャーナリズム」は、BBC World News（英）、CNN International（米）、Channel News Asia（シンガポール）、Al-Jazeera English（カタール）、EuroNews（仏）、そしてNHK World（日本）である。これら6局による当時の報道内容を、映像と言語表現双方から分析するとともに、その結果を踏まえて、6局の東京特派員にインタビューをし、当時用いた報道フレームや日本発のニュース素材をグローバルニュースにするために工夫した点などを聞き取り調査する。同時に、メールを利用したアンケート調査を「グローバル・ジャーナリスト」を対象に行い、その社会的属性や問題意識などを明らかにする。</p> <p><準備></p> <p>本研究を遂行するにあたり、すでに申請者は、6局の受信設備、および録画設備を整えている。今回、後藤さん殺害事件が発生した際、録画を実施済みであるが、続報や関連報道を適宜、録画し研究資料に加える予定である。また、6局には何度か訪問しており、アンケート調査を依頼できる人的ネットワークも構築されている。</p> <p><方法></p> <p>1. 内容分析：この録画データに対しDictationによる質的内容分析、映像のコード化による量的内容分析の二つのアプローチを取る。2. インタビュー調査：内容分析を踏まえて各局の東京特派員にインタビューする。インタビューは半構造化方式で行い、その際の主な視点は、ニュース選択の基準およびグローバルコンテキストに合わせたストーリー化の工夫の2点。3. アンケート調査：学歴、海外居住歴、国籍などの社会的属性をベースに、グローバルニュースの取材・編集に対する考え方を探る。</p>	
2. 研究の成果	
<p>採択額が大幅に減額されたため、当初予定していた、インタビューや内容分析がほとんどできなかった（研究費使用実績報告書を参照のこと）。</p> <p>最低限の文献研究並びに、メールを利用した海外の研究対象メディアとのやり取りを行った。その結果、本報道に際しては、各局の時間的な要因および人的な要因など、各局の報道スタンスとは別の要因が絡んでいることが示唆された。</p>	

3. 研究成果の公表実績・予定（年月日、方法）

本研究の成果の一部は、現在、執筆中の著書『ナショナルインタレストを越えるグローバル・ジャーナリズム—地球市民向けニュースへの挑戦』（仮題）の1節として今年度中に発表する予定である。

平成 28 年度(2016 年) 研究概要

研究所・部門	
研究課題名	「グローバル・ジャーナリスト」の視点の研究—IS による後藤さん殺害事件を事例に
研究代表者	鈴木 弘貴
研究期間	2016 年 4 月 1 日 ~ 2017 年 3 月 31 日
共同研究者	

1. 研究成果取組状況

(1) 国内外の学会発表

状況	発表者, 発表課題, 学会誌名, 発表年月日, 発表場所	招待講演
発表済		
発表予定		

(2) 雑誌論文(学内紀要含む)

状況	発表者, 発表課題, 学会誌名, 発表年月日, 発表場所	査読有無
投稿済		
投稿中 投稿予定		

(3) 図書等の出版

状況	発表者, 発表課題, 学会誌名, 発表年月日, 発表場所
出版済	
出版予定	『ナショナルインタレストを越えるグローバル・ジャーナリズム—地球市民向けニュースへの挑戦』 ミネルヴァ書房 2017 年度末出版予定

(4) シンポジウム・講演会等の開催

状況	主催者名・協賛社名等, 講演(発表タイトル), 実施年月日, 実施場所
開催済	
開催予定	

(5) 本研究に関連して本学経費以外に支援を得た補助金など

年度	機関・財団名, 事業名, 課題名